



人はみな
生かされて
生きてゆく

燕市保護司会 会報

あしたに

第20号
令和5年
1月1日

編集・発行 燕市保護司会 事務局 ☎0256-78-7645

第72回 “社会を明るくする運動” 主唱／法務省
～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～



分水ショッピングパークパコ (7月1日)



リオンドール 燕北店 (7月2日)



イオン 県央店 (7月3日)



原信 吉田店 (7月7日)

社会を明るくする運動 街頭広報活動

- ・分水ショッピングパークパコ (7月1日)
- ・リオンドール 燕北店 (7月2日)
- ・イオン 県央店 (7月3日)
- ・原信 吉田店 (7月7日)
- ・きららおひさまこども園 (7月7日)

ごあいさつ

地域のチカラ 地域の絆



燕市保護司会
会長 高橋 清二

明けましておめでとうございます。本年もよろしく申し上げます。日頃より燕市保護司会の更生保護活動に対し、自治会長様はじめ、地域の皆様のご支援ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

保護司とは身分が非常勤の国家公務員で、給与は支給されないボランティアです。罪を犯した人が矯正施設から出て来たときに普通に社会生活を送ることができるように指導、助言を行い再犯防止に取り組んでいます。社会の中で立ち直りを支援するには、地域の方々の更生保護に対するご理解とご協力を得ることが必要です。

これからも皆様の温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

安心して

暮らせる燕市に



燕警察署長
清水文宏

燕市保護司会の皆様には、日頃から更生保護活動や犯罪・非行の予防活動に献身的に御尽力されていることに対し、深く敬意を表するとともに、心から感謝申し上げます。

昨年三月に燕警察署長として赴任し、燕市での生活も一年が経とうとしています。日本有数のモノづくりのまちとして知られる燕市ですが、その代名詞とも言える金属加工をはじめ、大津分水桜並木や良寛が愛した国上山、そしてご当地グルメの背脂ラーメンなど様々な魅力を堪能し「日本一輝いているまち・つばめ」を実感しながら過ごしてまいりました。また、保護司の皆様をはじめ、多くの市民が、防犯活動や交通安全活動に熱心に取り組んでいる姿を折に触れて目の当たりにし、警察署長として大変ありがたく感じながら、日々の業務を推進してまいりました。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活でも様々な

制約を受け、私たちの生活様式も大きく変わることとなりました。

犯罪においても、新型コロナウイルスに乗じた様々な犯罪が発生し、当署でも持続化給付金詐欺事件を検挙するなどしております。また、新型コロナウイルス対策として急速に普及したテレワークやキャッシュレス決済などは、働き方を変え、生活を便利にした一方で、詐欺サイトの増加や不正アクセス被害の発生など、サイバー空間の脅威をより身近なものにしました。さらに、いわゆる「巣ごもり」の影響によるDVや児童虐待の増加なども懸念しているところです。

刑法犯認知件数は平成十四年をピークに減少を続けておりますが、社会情勢の変化に伴い、犯罪の態様も多様化するなど、依然として予断を許さない状況が続いております。

警察といたしましては「安全で安心して暮らせる燕市」の実現に向け、保護司会の皆様や関係機関・団体との連携を一層深めてまいりたいと考えております。

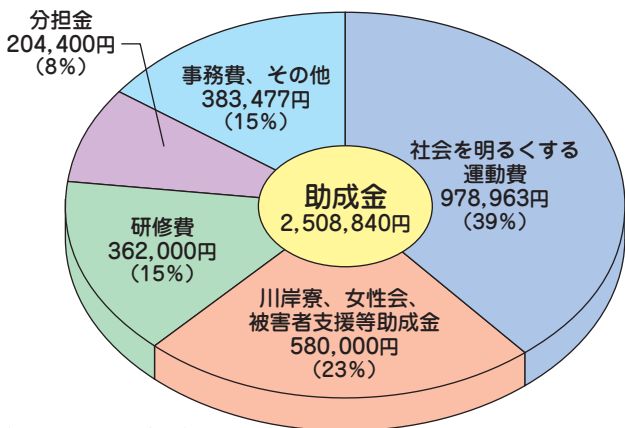
今後とも御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



令和4年度「愛の協力運動」のお礼

コロナ禍の中、ご協力いただいた会費は市全体で2,814,274円となりました。厚くお礼申し上げます。これはすべて新潟県保護観察協会に納入いたしました。

同協会より助成金2,508,840円が交付され、その用途は左のグラフのとおりです。今後ともご協力をお願いいたします。



(支出予定分を含む)

燕市保護司会の 主な事業

【社会を明るくする運動】

- ◎ 強調月間（七月一日～三十一日）
- ・ 燕市長への総理大臣メッセージ伝達
- ・ 懸垂幕設置、啓発看板設置、ポスター掲出
- ・ 街頭広報活動（五ヶ所）
- ・ 市内全中学校、中等教育学校一三年生に啓発用品配付
- ・ ラジオ番組出演による広報
- ・ ラジオコマースイナル放送

【研修】

- ・ 第一期～第三期（新潟保護観察所指定）
- ・ 第四期自主研修会
- ・ 矯正施設視察研修 **中止**

【会議】

- ・ 総会
- ・ 理事会
- ・ 専門部会（研修、犯罪予防、広報）

【広報活動】

- ・ 広報誌「あしたに」発行
- ・ 「ボランティア・市民活動まつり」での広報 **中止**

【その他】

- ・ 「更生保護サポートセンター燕」の運営
- ・ 新潟県更生保護大会 **中止**
- ・ 薬物乱用防止活動への協力
- ・ 協力事業主の募集

立ち直ろうと

する人に

中山 佳江

犯罪や非行という過去から立ち直ろうとしている人たちの支援活動のひとつに「愛の協力金」があります。

それとは別に、誰でも気軽に一口千円からインターネットで寄附できる「立ち直り応援基金」もあります。アナログ人間の私ですが、早速スマホを片手にやってみました。画面の指示通りに操作して「これでほんとにできたの?」

一ヶ月後、日本更生保護協会から寄附金領収書が届きました。「本当にできたんだ。」

更生を目指し立ち直ろうとする人への生きづらさに寄り添い、支援する方法は様々です。一人ひとりでできることから始めて、社会を明るくしませんか。



燕市更生保護協力事業主インタビュー



㈱オールペイント
コグレ
代表取締役社長

小暮 直樹

● **会社経営で心がけていることは**
社員と経営者との溝をなくし、立場の違いを越えて一緒に会社を盛り上げていくようにしたい。

● **事業主会入会のきっかけは**
非行に走る若者のことを保護司から聞き、私の会社で働く中で更生の手助けができればとの思いから。

● **就労支援について**
罪を犯した人の就職は、知り合いに頼むなどしないと難しい現実があるが、本人が働いて本当に更生しようという気持ちがあれば力になりたい。

● **更生を目指す人へのアドバイスは**
一生懸命に働き、仕事に必要な資格も取得して一人前になること。それで人から認めてもらえるようになる。やりがいを見つけて欲しい。

● **最後に一言お願いします**
更生を目指して、仕事を求めている人の情報が事業主会に入れば、手を差し伸べていきたい。

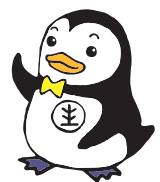
更生保護サポートセンター燕

〒959-0231 燕市吉田日之出町1番1号 燕市民交流センター2F

〈開所時間〉月・水・金 午前9時～午後3時(祝日は休み) 〈☎〉0256-78-7645 〈FAX〉0256-78-7646

保護司会が地域の関係機関・団体と連携しながら、更生保護活動をする拠点です。

更生保護サポートセンターを中心に地域における再犯防止のための活動を推進していきます。また、立ち直りを支える更生保護や犯罪予防活動に今まで以上に力を入れ、安全・安心なまちづくりに努めます。



『更生保護』とは、犯罪や非行をした人の立ち直りを社会の中で見守り、地域の力で支えていくこと

燕地区事件件数「令和4年新潟県における更生保護(統計)」から

(令和4年7月末日現在)

1. 保護観察数

種別等	1号観察	2号観察	3号観察	4号観察	合計
燕市	0	0	0	5	5
新潟県内	72	9	33	107	221

※保護観察：仮釈放・一部猶予になった者、保護処分となった少年を、保護司などが観察・補導し社会内での更生を図ること。1号観察・2号観察は少年が対象、3号観察・4号観察は仮釈放や執行猶予中の成人が対象。

2. 生活環境調整

区分	刑務所受刑者	少年院在院者	合計
燕市	4	0	4
新潟県内	361	6	367

※生活環境調整：矯正施設に収容中の受刑者の社会復帰に備え、住居・就労などの生活環境を整えること。



燕地区更生保護女性会



「スイートポテトの仕上げは
ほくにまかせて!」

Keep on Smiling!!

- ♥ 燕市保護司会への協力
- ♥ 大会・研修会
- ♥ 更生保護施設への支援
- ♥ 子育て・地域支援活動



新潟少年鑑別所にお花を
届けました。

現在、会員が関わっている
「こども食堂」は4ヶ所あります。

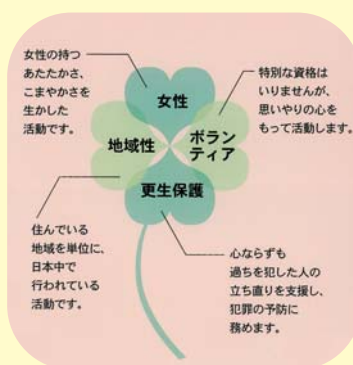
- 「地域食堂」
- 「おたがいさま食堂」
- 「みんなの食堂」
- 「くーちゃん食堂」



「あと、いくつかな?」

会員募集中です!

【問い合わせ先】事務局 岩田 慶子
☎090-4534-4675
kouseihogojoseikai@outlook.jp



新任あいさつ

八子 一二三

令和四年四月に保護司となりました。その後の定期的な研修や関連活動への参加により、少しずつではありますがスキルアップを図ることができました。加えて、今まで培ってきた経験などを生かし、今後、犯罪や非行の無い安全で安心な明るい地域となるよう、活動を通し、少しでも地域貢献につながり、地域のお役に立てれば幸いです。皆様方のご協力をお願いいたします。

熊谷 良紀

昨年四月に保護司の委嘱を受け、身の引き締まる思いとともに、後には引けぬ緊張感と責任の重みを感じています。大変未熟者ではありますが、対象者やその関係者に寄り添い、少しでも更生に向けた手助けができるよう努力していく所存です。よろしくお願い致します。

星 直仁

四月より新任保護司として研修会に参加させていただき、感じたのは「自分には人に寄り添う気持ちが足りていないなあ」という思いでした。今後、皆様のご指導をいただきながら、しっかりと寄り添える保護司を目指したいと思えます。よろしくお願致します。

大島 靖浩

私は、多摩少年院での法務教官人生をスタートさせ、外務省への出向もありますが、刑事施設を含め八ヶ所の施設で勤務することができました。第二の人生を地元新潟で保護司として始めさせていただくことに大きな喜びを感じております。どうぞよろしくお願い致します。



あとかぎ

新春のお慶びを申し上げます。
先の見えない不安や我慢…そんな日々から、ようやく明るい兆しが見えてきた、今年はそのお正月です。
新潟自慢の郷土料理「のっぺ」を食べながら、久しぶりに集まれるのではないのでしょうか。歳を重ねる程に好きになるこの料理。どうか子ども達にも受け継いでいって欲しいです。祖母や母を思い出し、温かい気持ちになれる。心の栄養は何よりの免疫力。大切にされてきたことを思い出せる魔法です。
(広報部S)